

今後の防災スペシャリスト養成の在り方に関する事項

主に、有明の丘研修について、今後、以下に関して検討する。

- ① **研修の受講者** 【➡ 第2回企画検討会】
(受講者像 等)
- ② **研修の手法** 【➡ 第1, 2回企画検討会】
(オンラインの活用 等) 【➡ 第3回企画検討会以降】
- ③ **構成、内容**
(コースの再編、研修指導要領の改編、
人材ネットワークの取り組み、トレーナーの育成 等)
- ④ **修了者の能力評価**
(フォローアップ、能力評価の活用、修了歴の共有、資格 等)
- ⑤ **その他**
(地域研修の在り方、他の研修の認証、OJT研修 等)

新しい研修を構築し、
令和5年度からの実施を目指す

(参照：令和3年度第1回企画検討会「資料3 防災スペシャリスト養成の課題と在り方について」)

これまでの「③研修の構成・内容」に関する変遷

主な整備事項

防災基本計画を基に

- 単元の設定
- コースの設定



- 研修の体系
- コース構成表



- 研修指導要領
- 知識体系

適宜見直し

単元移動、熊本地震等から得られた知見・課題の追加、等

地域研修

オンライン

年度	構成・内容に関わる検討内容	有明の丘研修 コース構成
平成25年度	「防災基本計画」を基に、 <u>防災スペシャリストが実施する26の防災活動</u> と、身につけるべき能力の考え方をもとに、 <u>コース設計の基準</u> となる学習項目を整理。	- 幹部コース - 防災中堅コース - 防災一般コース
平成26年度	- H25に整理した学習項目をもとに、<u>コースを設計</u>。 - 学習項目を構造化した「<u>構造化表</u>」を作成し、単元で学習する内容の範囲を設定（コース内の単元設定）。	<防災基礎コース> ①防災基礎 <個別対策コース> ②減災対策, ③訓練企画, ④警報避難, ⑤物資物流・広域行政, ⑥避難収容・被災者支援, ⑦復旧復興 <総合管理コース> ⑧計画立案, ⑨広報, ⑩総合
平成27年度	- H26に作成した構造化表をもとに、各コース間での学習内容を見直し。学習内容を階層整理し、「<u>研修の体系</u>」を作成。 - 研修の体系(構造化表)に基づいて「<u>コース構成表</u>」を作成。	※変更なし
平成28年度	- 防災スペシャリストに求められる「<u>知識体系</u>」を整備 「研修体系」の見直し 「構造化表」等をもとに「研修内容整理表」を作成し、「<u>研修指導要領</u>」の学習内容を整理。	①防災基礎, ②災害への備え, ③警報避難, ④応急活動・資源管理, ⑤被災者支援, ⑥復旧復興, ⑦指揮統制, ⑧対策立案, ⑨人材育成, ⑩総合防災
平成29年度	ワーキンググループを通じた講座の見直し。研修指導要領の見直しや技能・態度の位置づけの見直しを実施。	①防災基礎, ②災害への備え, ③警報避難, ④応急活動・資源管理, ⑤被災者支援, ⑥復旧・復興, ⑦指揮統制, ⑧対策立案, ⑨人材育成, ⑩総合監視
平成30年度	地域別総合防災研修の見直しや、ワーキンググループを通じた講座の見直し、研修指導要領の見直しを実施。	※変更なし
令和元年度	地域研修を開始。受講者拡大の検討や、ワーキンググループを通じた講座の見直し、研修指導要領の見直しを実施。	※変更なし
令和2年度	オンラインを活用した研修を実施。ワーキンググループを通じた講座の見直し、研修指導要領の見直しを実施。	※変更なし

「標準的な研修を確立するための活動要領」の検討にあたっての概念整理(案)

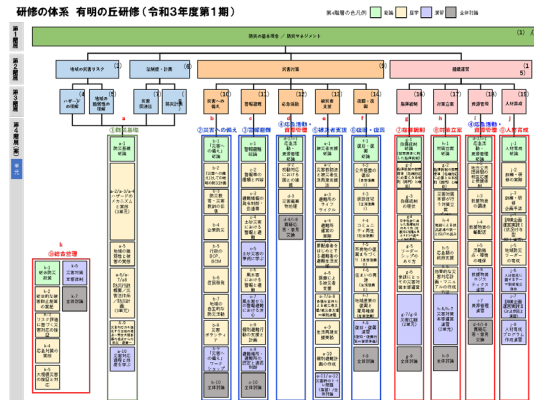
(平成28年度「防災スペシャリスト養成」企画検討会 報告書の図1-1を修正)

「研修の構成・内容」に関する今後の進め方

R3年度第1、2回企画検討会で研修手法を議論

R3年度第3回企画検討会以降

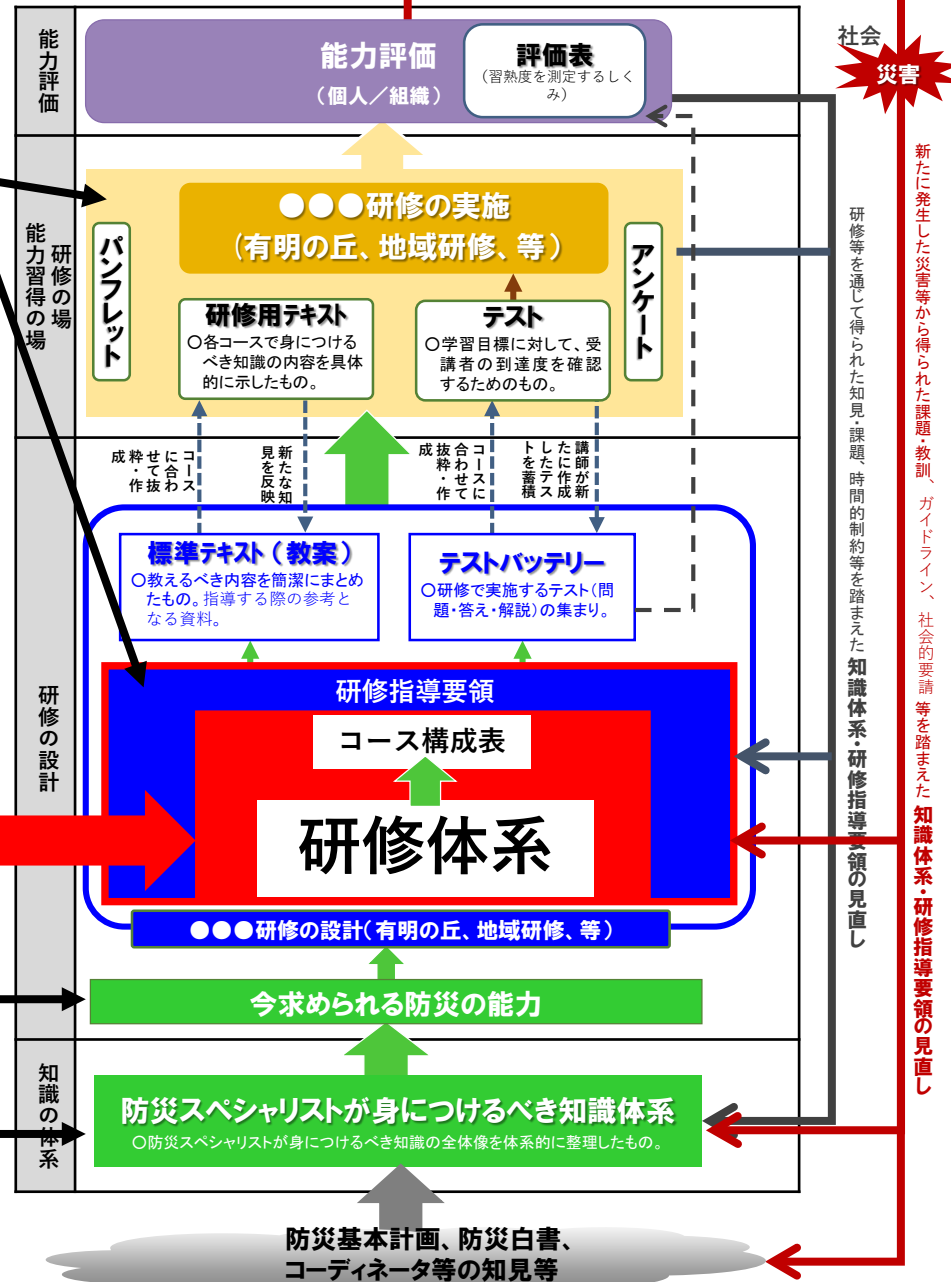
研修体系から内容・構成を議論してはどうか



→研修体系に関する企画検討会のご意見
→企画検討会のご意見と応募者ニーズ

R3年度第2回企画検討会で研修の受講者像等として設定

平成28年度防災SP企画検討会により整備
(知識体系:防災スペシャリストが身に付けるべき能力(知識・技能・態度)全体を網羅的・体系的に整理したもの)



「③研修の構成・内容」に関する意見の整理

R2年度第5回企画検討会資料を整理

事項	企画検討会 委員意見概要
ニーズに応じたコース 設定	○ 職位(部局長以上、管理職・監督職、一般職員)に適したコースの組み合わせを検討してはどうか。 ○ 新任の首長や部局長が着任後に必要なことを学べる仕組みの検討してはどうか。 ○ 管理職・監督職では、ケーススタディに特化した研修の仕組みを検討してはどうか。 ○ 防災以外の職員が、オンデマンド講義で基礎的な知識を学べる仕組みの検討してはどうか。
研修の時間・回数	○ オンデマンドの活用により、研修の回数や日数を見直す必要があるのではないか。
研修内容の充実	○ 時間の制約により、これまで十分な講義ができていない内容を充実してはどうか。 例) 罹災証明発行、医療救護、緊急輸送 等 ○ 受講者のニーズが高い内容を充実してはどうか。 例) 住民避難、要配慮者問題、通信手段の確保、他部署との調整、議員や市民への対応、メディア対応、等
人材ネットワークの取 組み	○ 演習を職階毎に実施することで職階ごとの人的ネットワークの構築してはどうか。 ○ 関連部局の連携に着目したグループワークやワークショップを検討してはどうか。 ○ 役所の枠を超えたネットワークができる課長、係長等のフォーラムを検討してはどうか。
コースの新設	○ トレーナートレーニングコースの新設し、講師の育成をはかつてはどうか。 (トレーナーコースについて、どういう方をトレーナーにしていけるかを検討してはどうか。) ○ 学習すべき内容が多いものや、これまで取り扱っていない業務について、新たなコースを設定してはどうか。